

第3回電力データ活用の在り方
検討会向けの検討資料

資料4

システム稼働までの暫定（ハンド対応）期間における データ利用者様のニーズへの対応案

2021年8月31日
送配電網協議会



アンケートを踏まえた暫定（ハンド対応）期間の検討状況

- 本日は、皆様からのアンケートの結果を踏まえた、暫定（ハンド対応）期間の検討状況を共有させていただきます。（アンケートのご回答ありがとうございました。）
- アンケート結果を踏まえ、一般送配電事業者側で暫定期間の対応可能な範囲の試算を行いました。
- 本日は試算の一例を共有させていただきます。
- 今後、認定協会設立準備WGにて議論が予定されている具体的な仕様（データ提供フォーマットなど）を踏まえ、費用など更なる検討を進めていきたいと思えます。

試算の一例 | データ活用件数×データ提供頻度×リードタイム

- データ利用者様へのアンケート結果に基づき、データ活用件数の合計×データ提供頻度のケース分けを行い、ケース毎の実施可否と、データ提供の依頼を受領してから何日後にデータ提供できるか（リードタイム）を試算しました。

※最もニーズが多かった東京エリアの試算結果を提示しており、他のエリアの試算結果は、「東京 + a」の日数がかかり、対応可能な件数・頻度・リードタイムも異なる。※¹

- 費用などについては、今後の検討状況（データ提供フォーマットなど）に応じて試算してまいります。

データ活用件数の合計×データ提供頻度のケース分け			東京エリアの試算結果
ケース	データ活用件数の合計	提供頻度	
1	1000件以上	毎日	×※ ²
2		毎週	
3		毎月	
4	100～1000件未満	毎日	3営業日後
5		1回きり	
6		毎日	
7	30～100件未満	毎月	
8		1回きり	
9		毎週	
10	1～30件未満	隔週	
11		毎月	
12		1回きり	

黒字 =リードタイム
 （一般送配電事業者から認定協会へのデータ提供にかかる想定期間を意味する。）



※¹：データ利用者ごとに複数のデータ提供フォーマット等を依頼された場合についても、対応可能な内容が異なる可能性がある。
 ※²：専用のプログラムを作成する必要があることや、日常の業務処理のシステムへの影響を踏まえるとハンド対応での対応は厳しい。

(参考) 暫定対応 (ハンド対応) におけるデータ提供イメージ (送配電事務局作成)

- データ利用者様は、需要家より個人データ受渡しに関する本人同意を取得し、認定協会への当該需要家に関する電力データ（個人データ）の提供について依頼する。
- 認定協会は、データ利用者様からの依頼を取り纏め、一般送配電事業者へデータ提供の依頼を行う。
- 一般送配電事業者は、社内システムから該当データの抽出等を行い、認定協会へデータを提供する。
- なお、データ利用者様が、本人同意等の変更を受付した場合は、認定協会へ速やかに連絡いただき、認定協会にてデータ提供依頼に関する管理を行う。

<暫定対応の業務フロー：イメージ>

